


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局: 気候変動対策認証センター) 御中

平成 23年 1月 6日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

<b>プロジェクト名<sup>1</sup></b>				
株式会社無垢 B-100BDFによる学校給食配送プロジェクト				
<b>【依頼者】プロジェクト代表事業者</b>				
事業者名(フリガナ)	株式会社 無垢			
住所	広島県三原市本郷南5丁目15番15号			
代表者氏名	道原 伸二	代表者役職		代表取締役
担当者氏名	道原 伸二	担当者 所属部署・役職		
担当者 E-mail	info@mooq.co.jp	担当者電話番号	0848-86-1869	
<b>プロジェクト事業者・プロジェクト参加者</b>				
プロジェクト事業者名	株式会社 無垢			
プロジェクト参加者名	有限会社 道原運送			
<b>オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者</b>				
事業者名(フリガナ)	株式会社 無垢			
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。			
<b>妥当性確認機関</b>				
妥当性確認機関名	SGS ジャパン株式会社			

<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「○○県△△事業者による□□(排出削減技術)を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報	
プロジェクト概要 <sup>2</sup>	<p><b>【プロジェクトの目的・内容】</b></p> <p>①現在三原市近郊地域において、BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル;以下BDF)の活用領域はまだ少ない。当社では、数年前よりBDFを使用した給食配送やスクールバス・福祉車両や公用車・デマンドタクシー・発電機などへの普及を三原市に対し提案してきたが、なかなか進まずにいた。しかし 2009 年度より本プロジェクト事業者(排出削減実施事業者)でもある有限会社道原運送が久井町 1 台・大和町 2 台の給食配送を委託され、株式会社無垢が製造したBDFを使用して運行を実施することになった。今後、この小さな流れを「J-VER制度」活用によって、更に大きなムーブメントへ拡げていきたい、と考えている。</p> <p>BDFは、「カーボンニュートラル燃料による化石燃料代替」として近年注目を集めている。学校給食の配送車両にこのBDFが使用されることにより、従来以上に目に見える形で小中学校の生徒にアピールでき、「環境教育」にも役立てることが出来る。又、廃食油を垂れ流せば、それによって浄化槽の悪化や河川の水質汚染が起き、引いては地球環境に悪影響を及ぼすことになる、という流れを通じて、環境問題は実は身近なところから始まっているという「意識の啓発」にも繋がるものと期待される。</p> <p>現在多くの市町では、廃食油は「燃えるゴミ」として処理されている。これを行政サイドが「資源ゴミ」に変えて収集することで廃棄物の削減につなげると同時に、グリーン購入の対象、更に二酸化炭素排出量をJ-VER化でオフセット・クレジット化する事で得られる資金を反映させれば、二重三重のメリットが出る。このような行政運営に結びつけることを、本プロジェクトの目的とする。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b> No. E. 004 プロジェクトで使用されるのは、従来は廃棄されていた植物性の廃食油を原料としたバイオ・ディーゼル燃料である。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 プロジェクト計画書 D.1 参照 消防法 プロジェクト計画書 D.1 参照 毒劇物取締法 プロジェクト計画書 D.1 参照</p> <p><b>【採用技術】</b> 本事業で使用されるバイオディーゼル燃料はメタノールを使用したエステル交換方式によって精製される。</p>

<sup>2</sup> プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを 2 ページ以内で具体的に記述してください。

<p>【モニタリング方法】 モニタリング計画書 II.算定式参照 【GHG 算定式の方法論への準拠性】 全て準拠する 【モニタリング体制】 排出・削減量算定責任者 株式会社 無垢 代表取締役 道原 伸二 排出・削減量算定確認者 株式会社 ファインサポート 代表取締役 児玉 学 排出・削減量算定担当者 株式会社 無垢 営業課長 長光 宏治 排出・削減量算定担当者 BDF精製係 (株式会社 無垢) 排出・削減量算定担当者 運行管理係 (有限会社 道原運送) 【QA / QC 体制】 定期的 (年 1 回程度) に自らが担当する役割以外の事項に対して、内部監査員として任命された者が内部監査を行い以下の役割を果たす。</p>															
プロジェクト実施場所	広島県三原市久井町江木 1611-1														
プロジェクト期間	2010 年 4 月 6 日 ~ 2016 年 4 月 5 日 (6 年 ヶ月)														
クレジット期間	2010 年 4 月 6 日 ~ 2013 年 3 月 31 日														
プロジェクト計画開始届提出日	2010 年 8 月 6 日														
妥当性確認終了日	2010 年 11 月 29 日														
想定削減・吸収量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2008</th> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t-CO<sub>2</sub><sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計	t-CO <sub>2</sub> <sup>3</sup>			5	5	5	15
年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計									
t-CO <sub>2</sub> <sup>3</sup>			5	5	5	15									
適用モニタリング方法ガイドライン	<p>オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン ( 排出削減プロジェクト用) ver.2.2</p>														
適用方法論	<table border="1"> <tr> <td>方法論番号</td> <td>JEAM 004</td> </tr> <tr> <td>方法論名称</td> <td>「廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両等における利用」に関する方法論</td> </tr> </table>	方法論番号	JEAM 004	方法論名称	「廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両等における利用」に関する方法論										
方法論番号	JEAM 004														
方法論名称	「廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両等における利用」に関する方法論														

3 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

ダブルカウントの防止措置		
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	「誓約書(別途様式あり)」	印
公的な報告・公表制度(判明している公的制度)	「株式会社無垢では他の制度に対して、排出減量を主張しない(誓約書参照)」	
自主的な報告・公表対象(対象となるホームページ、環境報告書等)	⇒「株式会社無垢では、取得したオフセット・クレジットを他社に引き渡した場合、自社のホームページ等で自社排出量の削減が行なわれたといった主張は行わない」	
備考欄		

以上